

すべての働く人に贈る、人生応援ストーリー

メディアワークス文庫

『ちょっと今から仕事やめてくる』

2017年初夏 映画化決定！

**[出演] 福士蒼汰・工藤阿須加
黒木華・小池栄子・吉田鋼太郎**

< 累計発行部数 50万部突破!! >

株式会社KADOKAWA(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松原真樹)では、厳しい仕事に疲弊した若者を主人公にした内容で反響を呼んだ『ちょっと今から仕事やめてくる』(著・北川恵海)を、メディアワークス文庫より発行しております。このたび、主演に福士蒼汰(ふくし そうた)、そのほかキャストに工藤阿須加(くどう あすか)・黒木華(くろき はる)・小池栄子(こいけ えいこ)・吉田鋼太郎(よしだ こうたろう)、そして監督・成島出(なるしま いずる)により、2017年初夏公開で本書の映画化が決定いたしました。

『ちょっと今から仕事やめてくる』は、ノルマの厳しい仕事で心身共に衰弱した若者・青山隆(あおやま たかし)が、無意識に線路に飛び込もうとしたところを「ヤマモト」と名乗る男に助けられたことから始まる物語です。著者・北川恵海のデビュー作である本作は、「第21回電撃小説大賞」で審査員の高い評価を受けて《メディアワークス文庫賞》を受賞、2015年2月の発売以来“スカッとできて最後は泣ける人生応援ストーリー”として、若者のみならず幅広い世代に読まれているベストセラーです。2016年7月現在、『ちょっと今から仕事やめてくる』は累計発行部数50万部を突破しています。



本作の主演で、最大の魅力である謎の男・ヤマモトを演じるのは、2011年俳優デビュー後、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」(2013年)で一躍全国区となり、ドラマ「きょうは会社休みます。」(2014年)、「恋仲」(2015年)、映画『ストロボ・エッジ』(2015年)、そして主演映画も本年12月『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』、2017年『曇天に笑う』と公開を控えている福士蒼汰。厳しい仕事に疲れ果てた青山隆を演じるのは、ドラマ「ルーズヴェルト・ゲーム」(2014年)、NHK連続テレビ小説「あさが来た」(2015年)とヒット作に出演し続ける注目の若手俳優・工藤阿須加。また、青山の先輩社員役を演じるのは、ドラマ「重版出来！」で主演を務めるなど現在最も勢いに乗る女優・黒木華。謎の男・ヤマモトの過去を知る人物を、成島組に欠かせない小池栄子が、青山を追い詰めるパワハラ部長を演じるのは、ドラマ・映画・舞台と幅広く活躍する俳優・吉田鋼太郎、という豪華なキャストとなりました。

監督・脚本は、映画『八日目の蝉』で第38回日本アカデミー賞最優秀監督賞、最優秀作品賞を受賞し、『ソロモンの偽証 前篇・事件/後篇・裁判』でも高い評価を受けた成島出が手掛けます。

映画『ちょっと今から仕事やめてくる』

【出演】福士蒼汰、工藤阿須加、黒木華、小池栄子、吉田鋼太郎 ほか

【監督・脚本】成島出（『八日目の蟬』、『ソロモンの偽証 前篇・事件／後篇・裁判』ほか）

【脚本】多和田久美（映画『草原の椅子』、ドラマ WOWOW「向田邦子 イノセント／2・3話」）

2017年初夏 全国東宝系にて公開

©2017『ちょっと今から仕事やめてくる』製作委員会

《『ちょっと今から仕事やめてくる』映画化にあたってのコメント》

◆監督・脚本：成島出さん より

8月から始まる撮影に向けて、3月から福士くん、工藤くんの2人とリハーサルを幾度も重ねています。今はもう

福士くんは、とにかく明るい生粋の大阪人にしか見えません！

工藤くんは、会社勤めをするサラリーマンにしか見えません！

と、クランクイン直前に2人にプレッシャーを与えておきます(笑)。でもあまり言いすぎると、本当に2人から撮影中に「ちょっと今から仕事やめてくる」と言われそうなので、ここまでにしておきます。

以下、真面目にコメントします。この映画は、すでに働いている人。そして、これから働く人。そんなすべての人にご覧頂けたらと思っています。社会に出て働くことによって、充実した日々を実感できるときもあれば、行き詰って希望を持ってなくなってしまうときもあると思います。そんな行き詰ったときにこそ、この映画をご覧頂くことが“新たな一歩を踏み出す一助”になるような作品にしたいと思います。

◆原作『ちょっと今から仕事やめてくる』著者：北川恵海 より

今回、光栄にもデビュー作である『ちょっと今から仕事やめてくる』が映画化されることとなりました。最初は余り知られていなかった本作が、読者をはじめ、たくさんの方の応援により少しずつその輪を広げていった様子は、まるで子供の成長を見守っているようで感慨深いものでした。応援して下さった方々には改めて御礼申し上げます。

主演が今をときめく福士蒼汰さんに決まったと聞いたときは「ヤマモト、お前も出世したなあ」と驚きました。とてもとても美しい方ですので、魅力的なヤマモトになるだろうとワクワクしています。工藤阿須加さんは、意志の強いまっすぐな瞳が非常に印象的な方だと思っていました。そんな工藤さんが弱々しい青山隆をどう演じてくださるのか、今から楽しみでなりません。後にこの作品がお二人の「代表作」と言えるようになることを、心から願っています。



著者近影

■メディアワークス文庫『ちょっと今から仕事やめてくる』概要

【書名】ちょっと今から仕事やめてくる

【著者】北川恵海

【判型】A6判

【ページ数】258ページ

【定価】本体530円＋税 【ISBN】978-4-04-869271-7

【書店発売日】2015年2月25日

【発行】株式会社KADOKAWA 【プロデュース】アスキー・メディアワークス

【内容】

ノルマの厳しい仕事で心身共に衰弱した青山隆は、無意識に線路に飛び込もうとしたところを「ヤマモト」と名乗る男に助けられた。同級生を自称する彼に心を開き、何かと助けてもらおう隆だが、本物の同級生は海外滞在中ということがわかる。なぜ赤の他人をここまで気にかけてくれるのか？ 気になった隆は、彼の名前で個人情報検索をネット検索する。出てきたのは、三年前に激務で鬱になり自殺した男のニュースだった――。

■ 著者プロフィール

北川恵海(きたがわ えみ)

大阪府吹田市出身。2015年『ちょっと今から仕事やめてくる』で第21回電撃小説大賞《メディアワークス文庫賞》を受賞しデビュー。コーヒーと紅茶、甘いものとテレビと音楽をこよなく愛する。趣味は旅行。

読んだ後はきっと元気になれる、著者会心の人生応援ストーリー第2弾『ヒーローズ(株)!!!』(メディアワークス文庫)も好評発売中。

◆メディアワークス文庫『ヒーローズ(株)!!!』概要

【書名】ヒーローズ(株)!!! (ヒーローズかぶしきがいしゃ)

【判型】A6判 【ページ数】338ページ

【定価】本体570円＋税 【ISBN】978-4-04-865950-5

【書店発売日】2016年4月23日

【内容】

「なーんの面白味もない人生やったなあ」——病床にある祖父の言葉が頭から離れないコンビニ店員の修司・26歳は、ある日、借りのある同僚から『ヒーローはキミだ!』という胡散臭い求人広告のアルバイトを持ちかけられた。その会社にいたのは、ちょっと癖のある人たち。いきなり任された仕事は、今をときめく人気漫画家の“お守り”? わけがわからないながらも真面目に仕事をこなす修司は、次第に信頼を得るように。しかし、そんな修司の前に過去のトラウマが立ち塞がる——。



↑ 『ヒーローズ(株)!!!』表紙

<ご参考>

■ 「メディアワークス文庫」とは

2009年12月創刊、アスキー・メディアワークスが贈るエンターテインメント・ノベル。恋愛、ミステリー、歴史など、さまざまなジャンルの小説を刊行しています。メディアワークス文庫からは、『ビブリア古書堂の事件手帖』(著／三上 延、シリーズ累計発行600万部)、『神様の御用人』(著／浅葉なつ、同95万部)、『0能者ミナト』(著／葉山透、同57万部)、『探偵・日暮旅人』シリーズ(著／山口幸三郎、同50万部)、『ちょっと今から仕事やめてくる』(著／北川恵海、同50万部)、『オーダーは探偵に』シリーズ(著／近江泉美、同40万部)、『お待ちしてます 下町和菓子 栗丸堂』(著／似鳥航一、同37万部)、『絶対城先輩の妖怪学講座』(著／峰守ひろかず、同25万部)などのヒット作品が生まれています。コミック、実写ドラマ化などメディアミックス展開も盛んで、幅広い層の方々に楽しんでいただいております。毎月25日発売。

●「メディアワークス文庫」公式サイト: <http://mwbunko.com/>

●「メディアワークス文庫」公式Twitter: <https://twitter.com/mwbunko>

■ 「電撃大賞」とは

「電撃大賞」は日本最大規模の公募新人賞で、1993年に作家・イラストレーターの新人登竜門「電撃ゲーム3大賞」としてスタート、第12回(2004年度募集)より「電撃大賞」に改称されました。小説部門の「電撃小説大賞」、イラスト部門の「電撃イラスト大賞」、コミック部門の「電撃コミック大賞」の3部門で作品を募集、次代を創造するエンターテイナーの発掘・育成を目的として開催しております。

小説部門の「電撃小説大賞」からは、有川 浩(第10回大賞)、三上 延(第8回三次選考通過)、川原 礫(第15回大賞)、山口幸三郎(第15回選考委員奨励賞)など多くの人気作家を輩出、『図書館戦争』シリーズ、『ビブリア古書堂の事件手帖』、『ソードアート・オンライン』、『探偵・日暮旅人』シリーズなど、数々の人気作品が生まれています。多くの作品が小説だけに留まらず、アニメ、コミック、実写映画、TVドラマ、ゲーム、舞台など、さまざまなメディア展開を行っております。

現在は第24回電撃大賞の作品を募集中で、応募締め切りは2017年4月10日を予定しております。

●電撃大賞公式サイト: <http://dengekitaisho.jp/>

●電撃大賞公式Twitter: https://twitter.com/dengeki_taisho

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】
株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス事業局
<http://asciimw.jp/>